

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

## 事業名 外国人留学生県内就職促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 産学金官連携係 電話番号：058-272-1111 (内 3292)

E-mail : [c11369@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11369@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 6,675 千円 (前年度予算額：6,929 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,929	3,414	0	0	0	0	0	0	3,515
要求額	6,675	3,286	0	0	0	0	0	0	3,389
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍で採用人数の減少、採用計画の見直しがあり外国人留学生よりも日本人学生の採用を優先している企業が多く、高度人材としての外国人留学生の採用をする県内企業が少ない。一方、大学等で学ぶ多くの優秀な留学生の中には、岐阜県での就職を希望する学生もいるが、日本の独特の就職活動、雇用制度への理解不足や、そもそも県内企業を知る機会が少ないこともあり、実際には県内企業への就職が少ないことが現状である。

こうしたなか、文部科学省「留学生就職促進プログラム」に基づき、「愛知留学生就職支援コンソーシアム」(代表：名古屋大学)が平成29年9月に設立されるなど、留学生への支援体制が整いつつあり、県内に加え愛知県内の留学生も対象とした取組みを進める必要がある。

さらに、国において、外国人の在留資格に関する見直しが行われたこともあり、県内企業における外国人材の受入体制整備、相互理解の促進が必要である。

### (2) 事業内容

#### ① 留学生向け就職支援セミナー

日本での就活等に関する基礎知識を習得するための、留学生向けセミナーを開催。留学生が参加しやすいよう、県内の留学生が多い大学での実施。

## ②企業向け留学生受入セミナー

外国人留学生を採用する上でのポイントや、外国人留学生に対し自社の魅力を発信するノウハウ、在留資格に関する企業向けセミナーを実施。

## ③留学生インターンシップ事業

①②のセミナーを受講した外国人留学生及び企業とのマッチングを行い、企業への理解を深めるインターンシップ事業を実施。

## ④留学生向けWeb合同企業説明会事業

最終的な県内就職に繋げるため、主に大学3年生の留学生向けのWeb合同企業説明会を実施。

(3) 県負担・補助率の考え方 全額県負担

(4) 類似事業の有無 有(外国人留学生県内就職情報発信事業)

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
旅費	72	業務旅費
需用費	20	消耗品費
役務費	10	通信運搬費
委託料	6,573	外国人留学生県内就職促進事業委託料
合計	6,675	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

○岐阜県成長・雇用戦略2017

2 各重要プロジェクト [1] 産業人材確保プロジェクト

(2) 県内外の人材獲得、(4) 多様な人材の確保・活用の促進

#### (2) 国・他県の状況

文部科学省「留学生就職促進プログラム」に基づき、各地域で外国人留学生就職支援のためのコンソーシアムが設立されている。

#### (3) 事業主体及びその妥当性

大きな効果を上げるためには、県内関係機関が連携して実施することが必要であり、県が実施することは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

#### ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内大学で学んだ優秀な外国人留学生に対し、岐阜県で就職することへの理解や、海外展開を希望する県内企業の魅力を知る機会を提供し、県内での活躍を促進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値	目標	達成率
インターンシップ 参加者数	(H )	17人 (H30)	19人 (R1)	20人 (R3)	95% (R1)

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

#### < R 元年度の状況 >

##### ○企業向けセミナー

開催日：7月3日(水) 14:00～16:30 会場：じゅうろくプラザ

講師：土井康裕氏（名古屋大学総長補佐・大学院経済学研究科教授）

溝越太氏（名古屋外国人雇用サービスセンター 外国人労働専門官）

松井富士雄氏（名古屋外国人雇用サービスセンター アドバイザー）

参加者：県内企業 24社 30名

内容：インターンシップ活用事例や外国人雇用の基礎知識について講演

##### ○留学生向けセミナー

開催日：6月17日(月)、18日(火)、19日(木)、7月10日(水)

会場：県内4大学（開催日順に中部学院大、朝日大、岐阜協立大、岐阜大）

テーマ：日本語での就職活動の進め方、自己分析・業界企業研究、ビジネスマナー

参加者：留学生のべ73名（朝日大53、岐阜協立大10、中部学院大8、岐阜大2）

##### ○インターンシップ

日程：8月下旬から9月のうちの5日間程度

参加者：留学生のべ19名（岐阜協立大5、岐阜大4、名古屋大1、名工大2、朝日大1、星城大1、ホツマインターナショナルスクール1、スバル学院4）

### （前年度の成果）

県内企業と外国人留学生の相互理解の促進に寄与した。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	企業の人材不足が深刻となる一方、グローバル化など市場の動向に応じた多様な人材が求められており、県内企業における外国人留学生の活躍を促進することが必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	実際の企業現場で、留学生と企業とが接することとなるインターンシップは、相互理解の促進のために非常に有効。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	県内大学と連携し事業を進めており、留学生への周知、事業参加等で効率的な事業運営を行っている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>「愛知留学生就職支援コンソーシアム」が名古屋大学を中心として平成 29 年 9 月に設立され、県も会員として参画している。これにより留学生支援に関して、愛知、岐阜地域の大学、企業団体等との連携体制が構築されるため、有効に活用する取り組みが必要。</p>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>就活ルールの変更など、留学生と企業を取り巻く環境が複雑化しており、留学生の就職に結びつく、より実践的な取組みが必要となっている。そのため、これまでのインターンシップに加え、より多くの企業と留学生が直接接する機会を提供する。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせで実施する理由 や期待する効果 など	